

大仙市から米や軽油配送

救援物資、被災地へ

大仙市は市民から贈られた救援物資の配送を十三日から始めている。今までは岩手県北上市など

を經由して送っていたが、十八日は陸前高田市へ米や毛布を、大船渡市には軽油二千リットルを直接届けることにした。軽油を運ぶにはローリー車が必要で、同市花館間倉、貨物運送業のミウラ産業へ依頼。救援物資は市職員が運んだ。こうした品々が無事に届くことを願い、同日朝、市役所大曲庁舎前で出発式を挙行。栗林次美市長をはじめ市職員が一行を見送った。

ローリー車を運転するのはミウラ産業の社員、大野和彦さん(43)。生活物資を積んだコンテナ車は市職員が運転。それぞれの車には先導車が付き、万一に備えた。輸送人員は七人。

軽油は岩手県の要請で市が準備した。大曲ファミリースキー場でゲレンデ整備する圧雪車に使用するため備蓄していたのを活用した。

生活物資は市民や市職員から贈られたもの。米五百四十キログラムを中心に缶詰やカップ麺、栄養ドリンク、粉ミルクなど。

このほかに子ども用紙おむつ、アルコール消毒液、タオル、毛布など被災地から要望のあった品々を運んだ。

今回の救援物資は、災害協定を結んでいる北東北連携軸構想推進協議会に基づき取り組んだ。



栗林市長らに見送られ出発する輸送車